



平成14年度指定 高指第100号

般若 昭三

【雅号】勘溪 かんけい

生年／昭和8年 指定技術名／銅器・双型



さはりいとめもんみずさし

砂張糸目紋水指

双型鑄造による柔らかな曲線が印象的で存在感のある水指である。作者が得意とする高度な技術が必要な砂張(さはり)という銅と錫の合金用いて鑄造されている。また、卓越した轆轤の技によって、肩と胴に施されたセン筋目には金箔が沈められている。さらに縦に交差する銀線象嵌を添えることで緊張感を与えられ、作者の感性を伺い知る作品である。

平成17年作 素材・技法／銅、錫合金・双型 寸法／高さ13cm×幅25cm×奥行25cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和44年 日本伝統工芸展初入選(以後、48回)
昭和48年 日本伝統工芸金工展日本工芸会賞
昭和57年 日本伝統工芸金工展奨励賞
昭和60年 日本伝統工芸金工展朝日新聞社賞
平成24年 紺綬褒章
平成30年 日本伝統工芸展富山展市長賞

〔経歴〕

昭和25年 父与吉の家業手伝う
以来今日に至る
昭和47年 日本工芸会正会員に認定
昭和54年 四国善通寺国宝錫杖複製
平成12年 正倉院佐波理加盤復元
平成15年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
平成16年 正倉院黄銅合子復元